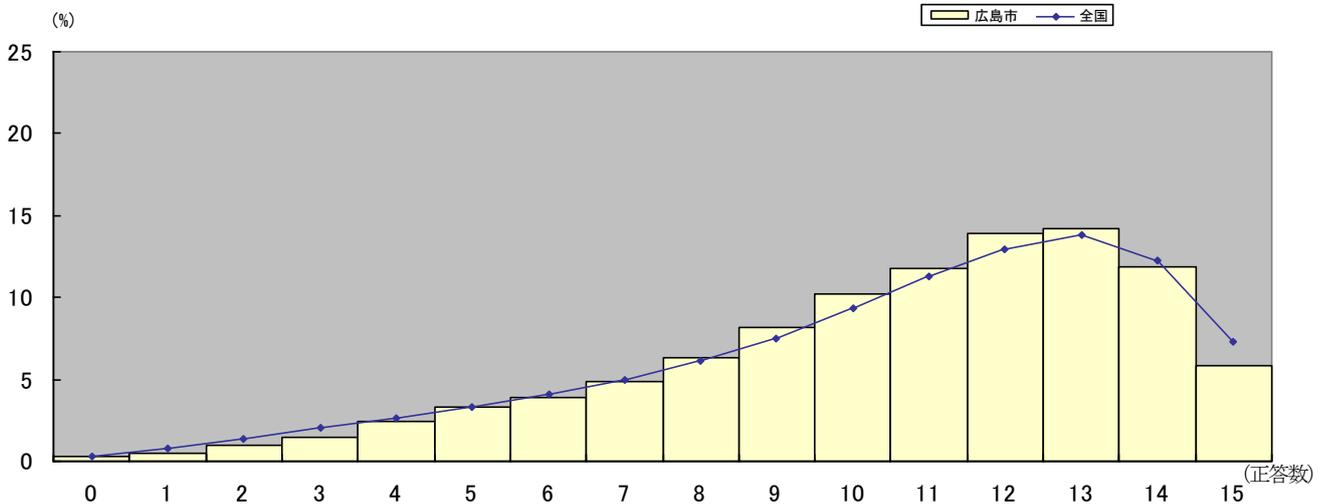


【中学校国語】

国語

【正答数の分布状況】



【学習指導要領の内容ごとの定着状況】

学習指導要領の内容		平均正答率(%)	
		全国	広島市
教科全体		69.8	70
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	67.5	65.2
	情報の扱い方に関する事項	63.4	63.8
	我が国の言語文化に関する事項	74.7	75.4
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	82.2	83.2
	書くこと	63.2	63.4
	読むこと	63.7	64.9

【評価の観点ごとの定着状況】

評価の観点	平均正答率(%)	
	全国	広島市
知識・技能	69.4	69.2
思考・判断・表現	69.7	70.7

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)	
	全国	広島市
選択式	73.1	72.9
短答式	65.6	64.4
記述式	68.0	70.5

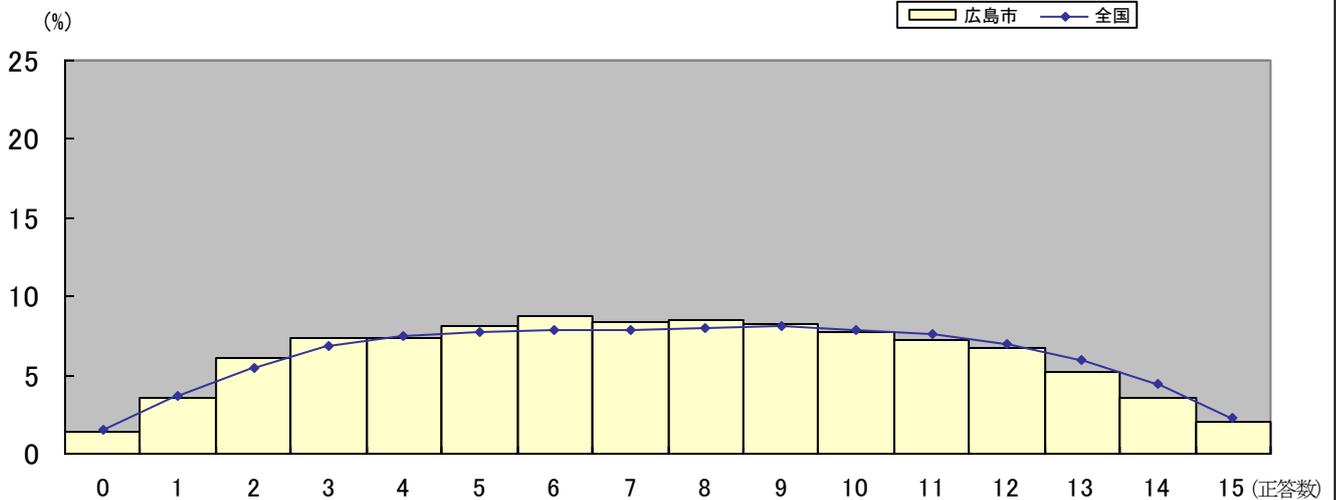
定着状況等

- ◆ 教科全体の平均正答率は、全国平均とほぼ同じである。
- ◆ 全国平均と同様に、分布が右よりの山形となっている。
- ◆ 知識及び技能「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」については、平均正答率がそれぞれ65.2%、63.8%、75.4%で、学習内容はおおむね定着していると見られるが、文脈に即して漢字を正しく書くこと（正答率：39.3%）に課題がある。
- ◆ 思考力、判断力、表現力等「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」については、平均正答率がそれぞれ83.2%、63.4%、64.9%であり、学習内容はおおむね定着していると見られるが読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること（正答率：52.3%）に課題がある。
- ◆ 評価の観点では、思考・判断・表現はやや上回っているが、知識・技能は全国平均とほぼ同じである。
- ◆ 問題形式別では、記述式は全国平均よりもやや上回っているが、選択式はほぼ同じで、短答式はやや下回っている。

【中学校数学】

数学

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)	
	全国	広島市
教科全体	51.0	<b>50</b>
数と式	63.0	<b>61.8</b>
図形	33.2	<b>32.2</b>
関数	51.2	<b>49.5</b>
データの活用	48.5	<b>47.1</b>

【評価の観点ごとの定着状況】

評価の観点	平均正答率(%)	
	全国	広島市
知識・技能	55.7	<b>53.9</b>
思考・判断・表現	41.6	<b>41.1</b>

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)	
	全国	広島市
選択式	45.3	<b>42.1</b>
短答式	62.6	<b>61.8</b>
記述式	41.6	<b>41.1</b>

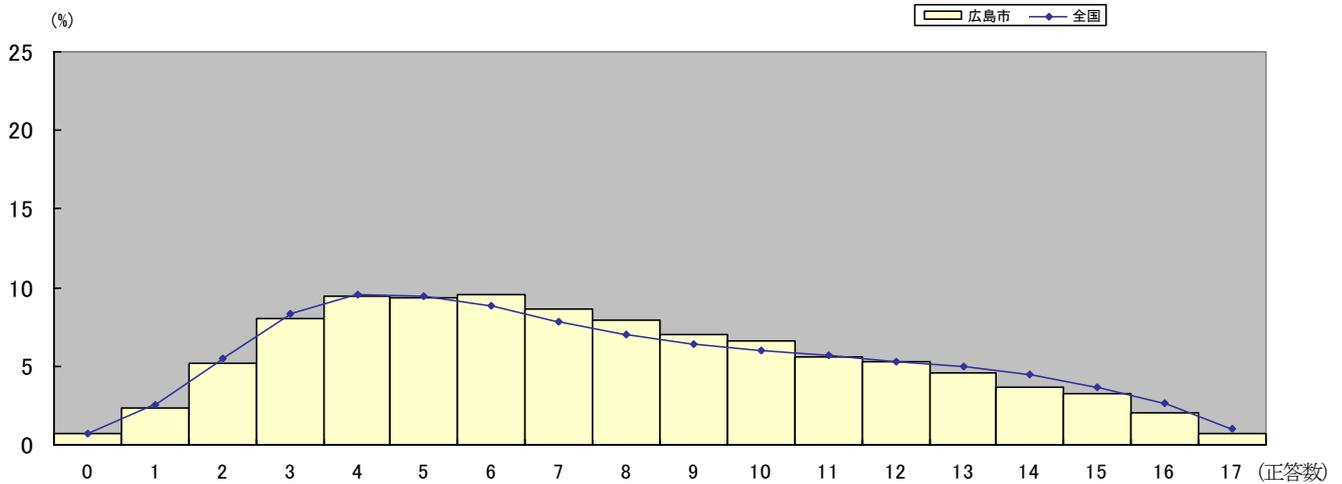
定着状況等

- ◆ 教科全体の平均正答率は、全国平均よりやや下回っている。
- ◆ 全国平均と同様に、分布がなだらかな山形となっている。
- ◆ 「数と式」については、平均正答率が61.8%で、学習内容はおおむね定着していると見られるが、自然数の意味を理解していること（正答率：42.5%）に課題がある。
- ◆ 「図形」、「関数」、「データの活用」については、平均正答率がそれぞれ32.2%、49.5%、47.1%であり、事象を理想化、単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈すること（正答率：58.3%）や複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること（正答率31.7%）に課題がある。
- ◆ 評価の観点では、知識・技能、思考・判断・表現ともに全国平均をやや下回っている。
- ◆ 問題形式別では、選択式は全国平均を下回っている。また、短答式、記述式ともに、全国平均をやや下回っている。

【中学校英語】

英語（聞くこと・読むこと・書くこと）

【正答数の分布状況】



【学習指導要領の領域ごとの定着状況】

学習指導要領の領域	平均正答率(%)	
	全国	広島市
教科全体	45.6	<b>45</b>
聞くこと	58.4	<b>56.8</b>
読むこと	51.2	<b>52.9</b>
書くこと	23.4	<b>21.0</b>

【評価の観点ごとの定着状況】

評価の観点	平均正答率(%)	
	全国	広島市
知識・技能	51.5	<b>50.7</b>
思考・判断・表現	38.8	<b>38.3</b>

【問題形式による定着状況】

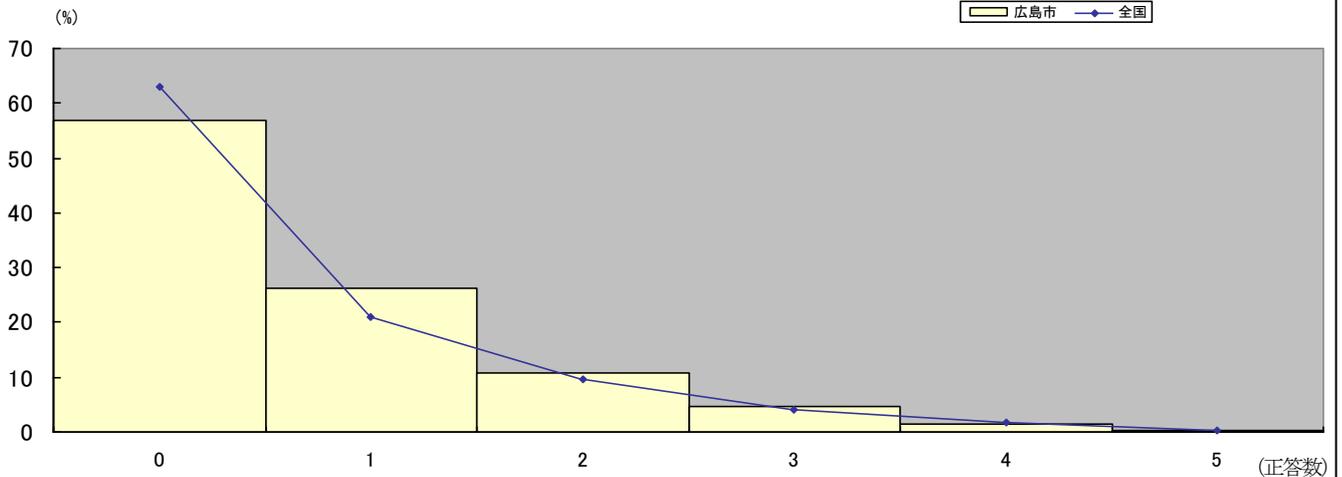
問題形式	平均正答率(%)	
	全国	広島市
選択式	54.8	<b>54.8</b>
短答式	30.1	<b>25.8</b>
記述式	13.5	<b>14.0</b>

定着状況等

- ◆ 教科全体の平均正答率は、全国平均とほぼ同じである。
- ◆ 全国平均と同様に、分布が左よりの山形になっている
- ◆ 「聞くこと」については、平均正答率が 56.8%であり、買い物の場面において情報を正確に聞き取ること（正答率 47.3%）に課題がある。
- ◆ 「読むこと」については、平均正答率が 52.9%であり、日常的な話題について、短い文章の概要を捉えること（正答率 33.0%）に課題がある。
- ◆ 「書くこと」については、平均正答率が 21.0%であり、未来表現の肯定文を正確に書くこと（正答率 34.4%）や、「相手の行動を促す」という言動の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くこと（正答率 25.2%）に課題がある。
- ◆ 評価の観点では、知識・技能、思考・判断・表現ともに全国平均をやや下回っている。
- ◆ 問題形式別では、記述式では全国平均をやや上回っているものの、選択式は同じで、短答式は下回っている。

## 英語（話すこと）

### 【正答数の分布状況】



### 【学習指導要領の領域ごとの定着状況】

学習指導要領の領域	平均正答率(%)	
	全国	広島市
教科全体	12.4	<b>14</b>
話すこと【やり取り】	14.5	<b>16.1</b>
話すこと【発表】	4.2	<b>4.4</b>

### 【評価の観点ごとの定着状況】

評価の観点	平均正答率(%)	
	全国	広島市
知識・技能	13.9	<b>12.8</b>
思考・判断・表現	10.1	<b>15.1</b>

### 【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)	
	全国	広島市
短答式／口述式	13.9	<b>12.8</b>
記述式／口述式	10.1	<b>15.1</b>

※ 全国値は当日実施校が実施した調査の結果を、実施状況等を考慮した統計補正をかけ、全国値として推定されたもの（国公立）

### 定着状況等

- ◆ 教科全体の平均正答率は、全国平均よりほぼ上回っている。
- ◆ 全国平均と同様に、分布が左によった山形となっている
- ◆ 「話すこと【やり取り】」、「話すこと【発表】」について、平均正答率がそれぞれ16.1%、4.4%であり、疑問文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けていること（正答率7.7%）に課題がある。
- ◆ 評価の観点では、知識・技能は全国平均をやや下回っているが、思考・判断・表現は上回っている。
- ◆ 問題形式別では、短答式／口述式は全国平均をやや下回っているが、短答式と記述式はやや上回っている。